

良い学習教材とは何か

—マップ調査からの検討—

衛 蕾・林 伸一

1. はじめに

学校で使う教材は学習者から見ると既に指定されており、教師も学習者も、それを頼りに授業を進めている。特に、学習者は教材に書いてあるものが100パーセント正しいと思いがちであり、疑うことはまれである。しかしながら、使用されている教材が本当に最適なものであるか否かは、改めて考えてみる余地がある。教材は学習のために存在するものであるため、それを利用している学習者がどう学習教材を評価しているのかは重要な要素である。

有田（1984）は、「『材料七分に腕三分』という言葉が料理の世界にあるそうだが、これは教育の世界にも通用することである。いくら腕がよくても、材料が悪ければどうにもならないということであろう。学習意欲を高めるにも、よい材料を使うと効果的だがそうでない場合はせっかくの意欲がしぼんでしまうのである」と述べている。ここでの「材料」とは、学習教材のことを言っており、その役割を生き生きと適切に表現している。教師は教材を通して知識を伝達し、授業を展開する。教師が教材をうまく活かせるか否かによって授業効果も異なってくる。授業外学習として、予習や独習など、学習者が教材から直接知識を吸収することも多い。従って、良い教材は学習を半ば成功させる機能があると考えられる。

2. 研究の目的

本研究では、山口大学人文学部に在籍している日本人学生、外国人留学生及び社会人を対象に「いい教材とは何か？」を問うアンケート調査を行なった。学生の立場にせよ、社会人の立場にせよ、一般的に捉えられているいい教材にはどのような条件が必要であるかを明らかにしたい。

さらに受動的に教材を使っている学習者側の視点から見るといい教材とは何かが明らかとなり、教材を開発する上で大いに参考となるであろう。

3. 先行研究

有田（1984）は、「学習意欲を高める教材の工夫」について検討しており、「意欲を引き出す教材」や「調べ方を鍛える教材」で学習者の意欲を高めることができるとし

ている。

赤堀（1997）は、紙メディア、電子メディア、視聴覚メディアについての活用を検討している。

総合的学習対応教材研究委員会（2000）は、総合的な学習と心の教育との関係について研究を行ない、マルチメディアを活用した教材コンテンツの必要性について述べている。

林（2009）は、外国人のための日本語教科書『おいでませ山口』の歩みと今後の課題を検討している。『おいでませ山口』は、地域版のテキストではあるが、絵やマインド・マッピングが多用されているのが特徴的である。

4. 研究方法

本稿では、ワイコフ（Wycoff, J, 1991）が提唱したマインドマッピングを援用した調査法（以下、マップ調査）によって受講者からの記述データを収集した。

また、マップ調査の自由記述欄から得られた回答をグラウンデッド・セオリー・アプローチ（grounded theory approach）を応用した概念のコード化（coding）とカテゴリー化を行い、談話分析の手法で分析し、検討した。「データ」の部分は、アンケートの自由記述の部分をほぼ一文単位に区切って入力した。ただし、二つの内容が含まれている文には、例外的に一文を前件と後件に分けて入力した場合もある。「属性」は学生か社会人かの区別と性別を示した。「コード」は主としてデータの中のキーワードを示した。

5. 「いい教材とは？」のマップ調査

本稿では、どんな教材がいい教材なのかを探るためにマップ調査＜別添資料：アンケート調査＞を行なった。マインドマッピングとは「心の地図」を作成することであり、換言すれば「頭脳の地図を描く」ということである。具体的には、一枚の紙の中心に、テーマ（あるいはアイデア）を描いて、それに関連する様々な情報や発想やアイデアを枝を伸ばすように放射状に次々と描（書）いていく方法をとる。「いい教材とは？」を中心テーマにして、線の先に思いつく言葉や表現を書き入れる形でマップ調査を実施した（図1参照）。



図1 「いい教材とは?」を中心概念としたマインドマッピング例 (20代・女性)

許 (2009) は、中国と日本の文化イメージの差異の比較研究の中で、マップ調査法を利用している。佐々木 (2010) は中国と日本の「鬼」についてのイメージの差異を研究するため、マップ調査法を採用している。林・衛 (2010) も、中国人学習者と日本人がそれぞれ求めるいい日本語教師像を探るために、マップ調査を利用している。林 (2010) は期待される日本語教師像についてマップ調査を行ない、外国人留学生の期待と教師の側からの自己点検の課題を探っている。

本調査は、2010年4月-6月に、山口大学人文学部の「日本語学講読」「日本語学演習」「日本語学特殊講義」「日本語学Ⅲ」の授業に参加した日本人学生118名、外国人留学生15名、及び社会人57名、合計190名にマップ調査を行ない、自由記述を求めた。

以下に具体的なアンケート回答者の内訳と調査結果及び分析を示す。

5-1. 「いい教材とは?」アンケート調査結果

5-1-1. アンケート回答者の内訳

<表1> 回答者内訳 (単位: 名)

| 日本人学生 | 社会人 | 外国人留学生 | 合計 |
|-------|-----|--------|-----|
| 118 | 57 | 15 | 190 |

<表2> 性別内訳 (単位: 名)

| 女性 | 男性 | 合計 |
|-----|----|-----|
| 154 | 36 | 190 |

注: (1) 【 】内は出現度数、【 】のないものは出現度数1を表す。「実数」はコードごとの回答の出現度数、「比率」は各カテゴリーの総件数に対する実数の百分率 (%) を表す。なお、具体的な回答内容としては、紙幅の関係から、全ての回答内容を挙げられなかった。出現度数の高い内容を示して、省略部分は「…」で示す。

(2) 表の左の縦枠には各コード名を示す。

(3) コードと表の並び方は、出現件数の多い順に並べた。

5-1-2. 各カテゴリーとコードの区分

全体として、アンケートの集計結果を3つのカテゴリーに分類した。その3分類は「教材内容」カテゴリー、「性質」カテゴリー、「その他」カテゴリーである。各カテゴリーにはそれぞれのコードが含まれている。さらに、類似の回答内容を一語でコード化した。例えば、表3の「図、表などがある【61】見やすい【55】カラフル【31】読みやすい【24】イラスト【18】字の大きさが適切【7】色【7】…」などの語群には「視覚効果」とコード化した。また、各コードの回答数を比較するために、各表に表した比率をグラフにして示した。

5-2. 「教材内容」カテゴリーの分析

＜表3＞ 教材内容カテゴリー

(n=892)

| コード | 実数 | 比率 | マップ調査の記述データ |
|--------|-----|------|--|
| 視覚効果 | 314 | 35.2 | 図、表などがある【61】見やすい【55】カラフル【31】読みやすい【24】イラスト【18】字の大きさが適切【7】色【7】字が大きい【7】文字ばかりではない【5】絵がたくさん【4】図解がある【4】… |
| 分かりやすい | 250 | 28.0 | 分かりやすい【125】具体例がある【14】説明が丁寧【14】解説が詳しい【12】適切な難易度【4】具体的【4】すぐ頭に入る【3】注釈が書いてある【3】専門用語の解説つき【3】簡単な表現【2】… |
| 興味深い | 121 | 13.6 | 興味を持てる内容【29】面白い【20】楽しい【17】やる気を促す【7】飽きない内容【6】身近な生活に即した内容【4】何度も読みたくなる内容【3】興味深い【3】繰り返し開きたくなる… |
| 明示的 | 68 | 7.6 | 要点がまとまっている【11】目的がはっきりしている【8】簡潔、明解【4】基礎から応用まで【2】… |
| 充実 | 52 | 5.8 | 内容が充実している【6】様々な視点から述べてある【3】内容が濃い【3】内容がしっかりしている・細かいところまで・多様性がある・伝えるべき内容がある・語彙が豊富・専門性が高い… |
| レベル分け | 24 | 2.7 | レベルに合う【5】レベルが適切である【2】レベル分けしている【2】step形式・学習レベルの方向性・自分のレベルにあったもの・学習者の学習目的に合っている・内容のレベルが高すぎない… |
| 正確 | 23 | 2.6 | 正確さ【4】間違いがない【3】誤字、脱字がない【2】内容に偏りがいない・要旨的確・結論明解… |
| 新鮮 | 20 | 2.2 | 情報が新しい【4】新しい知識【3】最新【2】くり返しじゃない【2】意外性【2】調査が新しい・古くない・新たな発見・タイムリーな題材がある |
| その他 | 20 | 2.2 | 印象に残りやすい【6】(注4) 明るい内容のもの【2】覚えやすい【2】会話・予想問題が当たる… |

注：(4) 絵画的記憶に関係する内容の場合には「視覚効果コード」に入れ、エピソード記憶に関係する内容の場合は「興味深いコード」に入れた。

- (5) 「視覚効果」コードの中の「見やすい」は、山口方言では「易しい・簡単な」という意味が含まれているため「分かりやすい」コードに含めてもよいかもしれないが、本稿では「図・表などがある」ことによって「見やすい」と判断し「視覚効果」コードに分類した。

〈表3〉の「教材内容」カテゴリーの各コードの比率（％）をグラフに表すと次の図2になる。

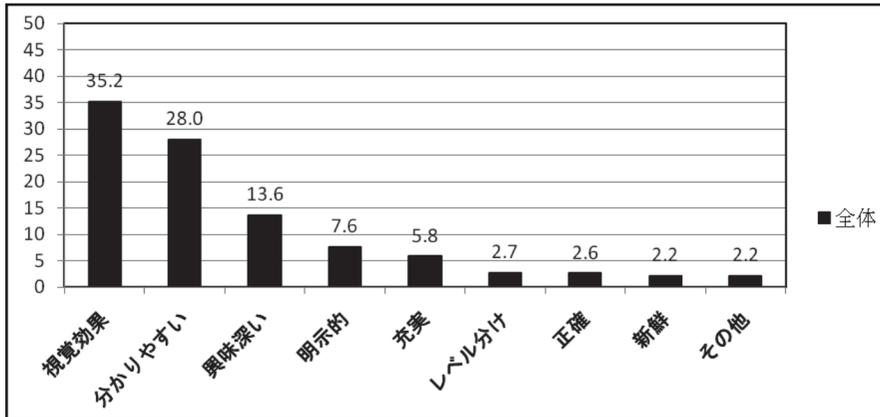


図2 「教材内容」カテゴリー

〈表3〉と図2に示したように、「視覚効果」コードが35.2%で、首位を占めている。いい教材の条件として、視覚効果が最も重視されているようである。

「視覚効果」コードには「図、表などがある」「カラフル」「字の大きさ」「スライド」「絵」などの回答が挙げられている。一冊の本を開くと、文章より先に目に入るのは絵や写真、図表など色がついているものである。

秋田（2006）は、「文字情報によるテキストと図の両方で表されている情報は、二重に符号化されるために記憶に残りやすい」と述べている。また、秋田（2006）は、「テキスト内容と図表が示す内容が重複したり、文の情報と一致したりしている図は、視覚的イメージをひきだすために具体的でおもしろいと感じられ、読み手の関与を促すなどの働きをもっている」とも指摘している。抽象的な概念や文字を具体的な図で表すことは、テキストの理解を深めることに繋がっていく。

小さな字がびっしりと書かれている教材を読んでいくうちに、目が疲れやすく、興味を失ってしまう場合もある。従って、字の大きさが適切である教材が望ましいという結果が表れた。イラストなどの利用も視覚的に刺激を与え、絵画的記憶として長期記憶に保存することを助け、学習者に興味を持たせる有効な手段である。

「分かりやすい」コードが28.0%で、第2位を占めている。具体的な回答内容では、「具体例がある」「解説が詳しい」「専門用語の解説つき」「簡単な表現」などが得られた。読んで何を言いたいのか分からない教材は、適切な教材とは言い難い。あるいは、表現が難しく、専門用語が多いにも拘わらず、用語解説がないなど、読み手に対する配慮のない教材も効果が期待できない。たとえ難しい内容でも、例を挙げながら説明・

解説がついている教材が分かりやすいと学習者には判断される。

第3位は「興味深い」コードである。秋田（2006）は、「興味を感じる事が、学習を始めたり続けようと意欲をもち続ける上で重要である」と述べている。興味は「学びたい」という意欲を促す要因であり、学習を続けるのに欠かせない要素である。教材の内容に興味を持ち、関心が高いとすれば、授業時だけではなく、授業外の予習、復習や独習を促す効果もあるだろう。いつでも、どこでも繰り返し使いたくなる教材は、充分その役割を果たすと言えるだろう。

「明示的」「充実」「レベル分け」「正確」「新鮮」なども、いい教材の条件として挙げられている。

「その他」の「印象に残りやすい」回答に関しては、注4に示した通り、場合によって「視覚効果」コードにも、「興味深い」コードにも含まれるため、その他に入れた。

5-3. 「性質」カテゴリーの分析

<表4> 性質カテゴリー (n=331)

| コード | 実数 | 比率 | マップ調査の記述データ |
|-----|-----|------|--|
| 利便性 | 118 | 35.6 | 持ち運びやすい【25】使いやすい【17】分厚くない【15】書きこみする余白がある【9】大きすぎない【6】コンパクト【6】目次がついている【5】重すぎない【5】軽い【4】索引がある【3】調べやすい【3】文庫本サイズ・目次や見出しがある・検索しやすい・適切な大きさ・A4の大きさ… |
| 実用性 | 81 | 24.5 | 長く使える【6】丈夫（破れにくい）【4】実用的【4】体験的【3】練習問題がある【3】学習者が自主学習できる【2】何度でも使える【2】くりかえし使える【2】練習できる【2】一人で予復習できる… |
| 値段 | 59 | 17.8 | 安い【17】手頃【12】高すぎない【7】安価【7】買い求めやすい値段【2】値段がリーズナブル【3】手頃な値段で購入できる教科書・購入しやすい価格・価格と質がみあっている・値段が高い… |
| 有益性 | 54 | 16.3 | 役立つ【11】理解が深まる【3】自分で考えられる【3】検定試験の情報が豊富【2】最低限学ぶべき事が学べる・日常会話に応用できる・達成したと実感できるもの・力がつく・知識が広がる… |
| 構成 | 7 | 2.1 | 目的にそってページ構成がなされている・頑張りそうなページ数・洗練・シンプルな構成・興味がわくような見た目、構成・丁寧な作り・ページ数は少ない |
| その他 | 12 | 3.6 | 誰もが親しみやすい【4】親しみが持てる【2】熱さ・独自性・発展性がある・簡素・相手に優しく響く言葉（やさしい、親切的な）・発展をシサ |

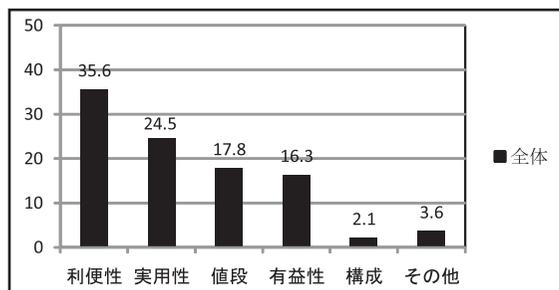


図3 「性質」カテゴリー

<表4>の「性質」カテゴリーをグラフに表すと左の図3になる。

「性質」カテゴリーに関しては、<表4>と図3に示したように、「利便性」コードが35.6%で、首位を占めている。そのうち、「持

ち運びやすい」という回答が多く得られた。

教材はほとんど毎日のように使うものであるため、使用者にあまり負担をかけぬよう、サイズや重さが適切であり、持ち運びやすい方が望ましいと考える。〈表4〉にも示したように、「分厚くない」「コンパクト」「文庫本サイズ」「軽い」などのような回答が見られた。

いい教材には、持ち運びに便利だけでなく、「書きこみする余白がある」「索引がある」「調べやすい」「目次や見出しがある」など、使用上の利便性も期待されている。

「実用性」コードが24.5%で、第2位を占めている。「利便性」コードと隣接する内容が多く具体的な回答内容としては、「長く使える」などの丈夫さを求める回答が含まれていた。

丈夫さの他に、「練習問題がある」や「自主学習できる」などのような回答も得られた。

鈴木（2002=2006）は、「情報活用能力を育てることは、すなわち『独学』ができるということの意味します。…学ぶ内容を確認して、学び方を工夫して、自分の学びを自分で確かめながら1つずつ身につけていく。そんな主体的で、自立した、情報を自分でコントロールできる力を育てよう」と述べている。「練習問題がある」「自主学習できる」教材としては、ナカニシヤ出版から『大学1年生からのコミュニケーション入門—ワークシート課題付—』（中野美香著、2010）や『大学学びのことはじめ—初年次セミナーワークブッカー—』（佐藤智明・矢島彰ら著、2008）が出版されている。

〈表4〉では、主に教材の使いやすさの形態を「利便性」コードに分類し、教材に耐久性があり、くりかえし練習できるような機能を「実用性」コードに分類した。両者は互いに隣接する関係の深いコードである。

第3位に来るのは「値段」コードである。教材の使用者の多くは学生であり、買い求めやすい値段が望ましいと言えるだろう。「有益性」コードは16.3%で、「値段」コードの17.8%と大差がない。教材の構成に関する回答も見られた。

5-4. 「その他」カテゴリーの分析

〈表5〉その他カテゴリー (n=146)

| コード | 実数 | 比率 | マップ調査の記述データ |
|-----|----|------|--|
| 副教材 | 68 | 46.6 | 実物【10】歌【7】付属品（CDなど）がついている【5】CD【5】カード【4】紙芝居【3】映画【3】映像【3】DVD付き【3】TV番組【2】ビデオ【2】音楽・音がある（耳でも学べる）・本だけではなく広義に見ると人物や物事も教材になりうる・プリント・新聞・お店の広告や案内看板・テープ… |
| 評判 | 26 | 17.8 | よく売れている【2】時代に合う【2】話題になる・多くの人が利用した・学校がすすめるもの・いい人にすすめられる・昔から多くの人に使われていて信頼がある・普遍的（流行に左右されない）… |
| 作成者 | 14 | 9.6 | 工夫されている【2】工夫や特徴が見られる・複数の人によって作られる・解説が有名な人・いい先生・先生の手作り教材・現場の教師や学習者の意見が取り入れられている教材・著者（専門分野）… |

| | | | |
|-------|----|------|---|
| 教師・授業 | 14 | 9.6 | 教員にとっても教えやすい【2】授業の進行と教材の使い方があっている【2】自分におきかえて教える・教える側教えられる側の対話が成り立つ・教える側の力に適している・教員の話とあっている… |
| その他 | 24 | 16.4 | 題名がいい・人それぞれ違う・数が少ない・相手・取捨選択しなければ得られない・残酷… |

<表5>の「その他」カテゴリーをグラフに表すと次の図4になる。

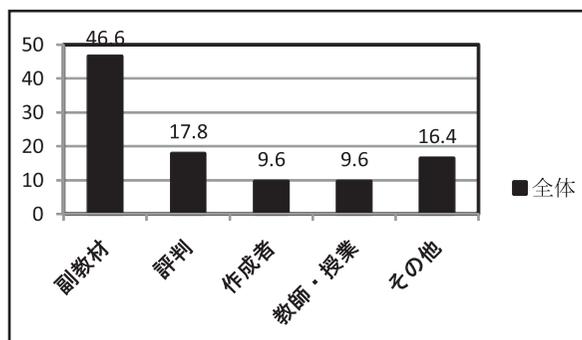


図4 「その他」カテゴリー

「その他」カテゴリーに関して、「副教材」コードが46.6%で、首位を占めている。副教材への期待が強いと言える。

教材と言うと一般的に頭に浮かぶイメージが教科書や参考書のことが多い。しかし、教材は印刷教材に限らず、学習を援助

できる全てが教材だと言える。「副教材」コードには、様々な回答が得られた。耳から学べる「音声」「CD」や、視聴覚で感じられる「映像」「TV番組」などが多く求められていることがわかる。

直接触れることができる実物や人物なども実物教材 (authentic materials) として挙げられている。それらは、教材というよりリソース (resource) として位置づけることもできる。

マルチメディア対応教科書研究委員会 (1998) は、「このような、知ることの喜びが味わえ、ものごとの真実性を納得し、また、知的探求のほんとうのおもしろさを身体全体で体験できるようなマルチメディア教材こそが、これからの教育に是非必要なのではないだろうか」と述べている。

教育、特に、視聴覚教育での利用を中心に考えたマルチメディアの定義として、文部省の教育メディア部会では、マルチメディアを「コンピュータを中核としてコンパクトディスク (CD)、ビデオディスクなどを結びつけて文字、音声、映像などを一体的に取り扱える装置とそれに用いる視聴覚教材の総称」としている。

マルチメディアを利用することにより、学習者は知識の習得や理解が促されるだけでなく、自ら学ぶことも可能になるだろう。

「評判」コードは17.8%で、第2位を占めている。実際に使った人からの意見や使用率はある程度教材を選ぶ際の参考になるだろう。時間が経ってもよく使用される教材こそ信頼性が確保できる。

「作成者」コードと「教師・授業との関連」コードが両者とも9.6%を占めている。

教材作りには、様々な工夫が必要なようである。

有田（1984）は、「子どもの意欲を高め、鋭い追究ができるようにするには、よい材料をすばやく見ぬく目や、それを鋭く料理してよい教材にしあげる腕が教師に要求されている」と述べている。いい教材には、その良さを見ぬき、うまく活用できる教師の存在が重要である。教師が教材を分かりやすく解説し、授業と密接に関連づけながら、学習者と双方向的に活動できることはいい授業を成立させる前提であろう。

6. 自由記述の分析

マインドマッピングから得られたデータだけではなく、アンケート用紙の自由記述欄から得られた内容を質的研究方法の一つであるグラウンデッド・セオリー・アプローチ（grounded theory approach）を用いて分析した。

戈木（2006）は、グラウンデッド・セオリー・アプローチを「データに基づいて（grounded）分析を進め、データから概念を抽出し、概念同士の関係づけによって研究領域に密着した理論を生成しようとする研究方法」と定義している。

次に示す表中の「番号」は、コンピュータでEXCELを用い、データ入力の順番を示すもので、人物を特定するものではない。無記名式のアンケートのため人物を特定することはできないが、同一人物の記述を分けて入力する場合は、以下〈表6〉の05(1)、05(2)、05(3)という具合に（ ）内に連番でつながりを示した。一文しか記述していない場合も03(1)や04(1)のように記号化した。

〈表6〉自由記述の切片化の例 (n=3)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|--|------|-----|----|-------|
| 05(1) | 「いい教材」はその教材を使う人がそれをどう思うかによって変わると思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 使用者 |
| 05(2) | ある人は使いやすいが使いにくい人もいるという具合にさまざまだと思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 使用者 |
| 05(3) | 学校で使われているものでも「いい教材」とそうでないものがあるのでは、という意見もあった。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 教材の種類 |

6-1. 視覚効果について

視覚効果について述べたものを以下の〈表7〉に示す。ただし、同様の記述は省略した。

〈表7〉「視覚効果」 カテゴリー (n=24)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|----------|------|-----|----|------|
| 07(1) | デザインが斬新。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 視覚効果 |

| | | | | | |
|-------|---|------|-----|----|-----------------|
| 20(3) | あとはやはり、図や写真等視覚的に工夫されているものの方が興味を喚起して良いのではないかと思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 視覚効果 |
| 25(3) | また、字の大きさ、図示の必要性なども、そういった生徒・教員側「読み手」を意識したのも必要だと思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 視覚効果 |
| 31(2) | その中でやはり視覚的工夫がされているもの(図であったりグラフ等が効果的に使用されているもの)や、… | 学生・女 | 20代 | 日本 | 視覚効果 |
| 41(1) | 上に示されたマインドマップを参考にすると、「見やすい」「図がある」「色が使われている」などの視覚カテゴリーや、… | 学生・女 | 20代 | 日本 | 視覚効果 |
| 59(3) | また、視覚的に記憶しやすいよう、絵や図など、また文字が太くなっていたり色がついたものもよいと考えられる。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 視覚効果 |
| 35(2) | 人それぞれ好みがあるので、すべての人に使いやすい教材というのは難しいですが、色や図などが適切に付けられていたり、難しい単語に解説がつけてあるものは分かりやすいと思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 視覚効果・ 分かりやすさ |
| 35(3) | あまりに色で分けられすぎていると逆に何が本当に重要なかが分かりにくくなるし、値段も高くなるのでバランスが取れているものがいいと思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | バランス |

(16件省略)

マップ調査から得られた<表3>の「教材内容」カテゴリの中で首位を占めている「視覚効果」コードの出現結果と一致しており、自由記述からも「視覚効果」の重要性が裏づけられた。

<表7>の記述から、カラフルで、図や絵が入っている教材が望ましいようである。特に、上記の20(3)は、「あとはやはり、図や写真等視覚的に工夫されているものの方が興味を喚起して良い」と述べており、視覚効果への工夫は興味を喚起する役割も果たしている。それは<表3>の「興味深い」コードにも繋がっている。

また、上記の35(2)に、「色や図などが適切に付けられていたり、難しい単語に解説がつけてあるものは分かりやすい」とあるように、マップ調査<表3>の第2位となっている「分かりやすい」コードとも関連している。

上記35(3)は、「あまりに色で分けられすぎていると逆に何が本当に重要なかが分かりにくくなるし、値段も高くなるのでバランスが取れているものがいい」と述べている。確かに、色分けされ、図や写真などたくさん載っている教材は値段も高くなるという問題が発生する。

6-2. 分かりやすいについて

分かりやすいに関する自由記述を以下の<表8>に示す。ただし、同様の記述は省略した。

<表8> 「分かりやすい」 カテゴリー

(n=23)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|---|-------|-----|----|----------|
| 33(1) | 中高などの学校で使われる教材であれば、一学年毎に共通して使用されるので、全員に分かりやすいという点が必要だと思っています。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 分かりやすい |
| 22(1) | テーマがはっきりしていて、分かりやすい。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 同上 |
| 60(2) | すべてのマインドマップに共通して、わかりやすい、はっきりと書かれている、見やすい、使いやすい、がつながるように思う。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 同上 |
| 74(1) | 「分かりやすい」という要素は「いい教材」を問われた時に、多くの人が真っ先に思いつくものであるように思う。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | 同上 |
| 74(2) | 「教材」が勉強のツールとして求められている以上、理解が容易か否かがやはり注目点だろう。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | 同上 |
| 74(4) | また、導入部分はなるべく簡単に、専門用語を多用しないものの方が望ましい。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | 同上 |
| 83(3) | 次には、万国共通性のある絵が多用しており分かりやすい内容。 | 社会人・女 | 30代 | 日本 | 同上 |
| 36(1) | 見やすい、分かりやすい、興味が持てる教材であれば、あきずに勉強を続けていけるだろうと思う。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 分かり易さ・興味 |
| 30(1) | 私にとっての「いい教材」は、「わかりやすい」や「見やすい」など勉強しやすい教材です。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 勉強しやすい |

(14件省略)

<表8>に示したように、「分かりやすい」に関する記述も多く得られた。この結果は<表3>の第2位「分かりやすい」コードと一致しており、分かりやすい教材の方が望ましいと言える。

上記33(1)は、「中高などの学校で使われる教材であれば、一学年毎に共通して使用されるので、全員に分かりやすいという点が必要だ」と、学校の教科書をイメージして、分かりやすさを強調している。また、74(1)は、「『分かりやすい』という要素は『いい教材』を問われた時に、多くの人が真っ先に思いつくものであるように思う」と述べ、分かりやすさがいい教材のイメージとして一般的に求められているようである。74(2)も、「『教材』が勉強のツールとして求められている以上、理解が容易か否かがやはり注目点だろう」と、教材の分かりやすさに着眼している。

6-3. 副教材について

副教材について述べたものを次の<表9>に示す。ただし、同様の記述は省略した。

次の<表9>を見ると、「映像」や「物・人間」などもいい教材として挙げられている。

<表5>のところで述べたように、教材は印刷教材に限らず、学習に役立つあらゆるものが教材と言える。文字だけの教材より、「映像」「オーディオ」「パワーポイント」や「物・人間」のような「生きた教材」(authentic materials)の方が生き生きと知識を伝えるのではないかと思われる。

マルチメディア対応教科書研究委員会（1998）は、「マルチメディアを利用することにより学習者が自分の考えである部分を深く考えたり、別の資料を参照する等を行うことができることから学習者が自分にとって必要な情報を引き出し、学習者が自ら学ぶことが可能になる。すなわち、学習者が学習内容を選択し、自分のペースで学習を進めることができるため知識の習得や理解を促進するだけでなく、情報を活用する能力や自己教育力の育成のために有効となる可能性を秘めているといえる」と、マルチメディア教材の学習への援助機能を述べている。

＜表9＞ 「副教材」 カテゴリー (n=16)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|--|-------|-----|----|-------|
| 75(1) | 教材というと本、冊子状のものを想像しがちだが、それだけではなく、DVD、CDなどを利用した映像、音の資料もまた教材になりうると思うべきである。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | 映像 |
| 79(2) | また、言語習得における教材は特にオーディオ等が重要になってくると思いました。 | 社会人・女 | 30代 | 日本 | オーディオ |
| 82(2) | 言語習得には、やはりビジュアルに訴えるもの、音声から真似して得られる語句などが挙げられると思います。 | 社会人・女 | 30代 | 日本 | ビジュアル |
| 11(1) | 図や絵がたくさん入ってるというのが共通していましたが、私は教材といったら教科書しか思い浮かべなかったのですが、相手の方は、教科書だけでなく、ビデオなども考えていました。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | ビデオ |
| 29(2) | パワーポイントなど視覚的なもの。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 視覚的 |
| 12(1) | 教材というと、教科書だけではないから、物、映像、音声など形態によって求めるものが違ってくると思いました。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 物・映像 |
| 01(2) | 文章で書かれた教科書や参考書もあれば、スライドや音声などの目や耳で感じる教材、「生きた教材」というような人間の講師や動植物などさまざまである。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 生きた教材 |
| 08(2) | 「教材」というと物という印象が強くなるが、人間も「教材」になるのではと考えた。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 物・人間 |
| 66(1) | 教材というと本と思いつくが、広義に見ると、人や物も教材となり得る。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | 物・人間 |
| 10(1) | マインドマップから、派生した話で、ねんどや鉄棒なども教材に含まれるのかという話がありました。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 物 |

(6件省略)

＜表9＞の自由記述から得られたデータは＜表5＞の首位を占めている「副教材」コードと一致しており、主教材だけでなく多様な副教材が期待されていると言える。

6-4. 利便性について

利便性について述べたものを次の＜表10＞に示す。

次の＜表10＞の37(1)、41(2)、72(1)や80(2)は、「持ち運びやすい」に関する記述である。37(1)には、「持ち運びやすければ常に持ち歩きつかえる」と記述されており、

ちょうどよいサイズや重さの教材の利便性が求められていると言える。

また、〈表10〉の60(1)、80(1)、29(1)、48(3)や23(2)は、索引や目次があると調べたいことがすぐ分かるので便利だと考えているようである。

マルチメディア対応教科書研究委員会（1998）は、「教科書の重要な機能は、目次があり、索引があることである。このことが、生徒にとって学習のガイドになっており、分からなくなったら索引で用語を調べるというナビゲーションになっている」と指摘している。目次や索引は、教科書の全体像を把握しやすくする機能を果たしている。

〈表10〉の33(3)は、「高齢者向けなら字を大きくする、留学生向けなら漢字に振り仮名をふる等の見やすさの工夫も必要だ」と記述されている。使用者によって、例えば、高齢者や留学生への配慮もいいの教材の条件の一つだと言える。

〈表10〉の自由記述は〈表4〉の首位を占めている「利便性」コードの結果と一致しており、やはり、使い手によくなじんで、便利な教材が望ましいと言える。

林（2009）が報告している『おいでませ山口』は、2003年に山口大学人文学部からの補助を受けて、第1分冊から第4分冊の合本版を作成したが、厚く重くなってしまう再び「持ち運びやすい」分冊版を作るようになったという経緯がある。分冊版のほうが学習者のレベルに合わせて配布できる。

〈表10〉「利便性」 カテゴリー

(n=14)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|---|-------|-----|----|------------------|
| 34(3) | どこでも気軽に使えるコンパクトなサイズ、… | 学生・女 | 20代 | 日本 | 利便性 |
| 37(1) | 持ち運びやすければ常に持ち歩きつかえる。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 利便性 |
| 41(2) | 「持ち運びやすい」「程よい大きさ」「索引がある」「価格が安い」といった実用度カテゴリー、… | 学生・女 | 20代 | 日本 | 利便性 |
| 60(1) | わかりやすく、目次や索引があったり、図や挿し絵がある、といった上に挙げたものからよみとれることは「使い勝手がよく、便利である」というのが共通していると思った。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 利便性 索引・ 目次 |
| 72(1) | ペアワークで「持ち運びやすい」という意見が出ました。盲点でしたが「たしかに!」と思われました。 | 学生・男 | 10代 | 日本 | 利便性 |
| 78(5) | 使用する場所により、教材の大きさも考えられる。 | 学生・男 | 10代 | 日本 | 利便性 |
| 80(1) | 索引があるとないとでは、使い易さが違うと感じました。 | 社会人・女 | 30代 | 日本 | 利便性 |
| 29(1) | 索引があればよい。(後で調べやすい) | 学生・女 | 20代 | 日本 | 利便性 |
| 48(3) | 内容がしっかりしていて、目次がついていると、目的のものを探しやすいくて、いい教材だと思った。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 利便性 |
| 80(2) | また薄い本だと持ち運びに便利だと感じます。 | 社会人・女 | 30代 | 日本 | 利便性 |
| 55(2) | 物理的にはサイズ・重量・価格などが出てきた。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 利便性等 |
| 33(3) | 高齢者向けなら字を大きくする、留学生向けなら漢字に振り仮名をふる等の見やすさの工夫も必要だと思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 見やすさ |

| | | | | | |
|-------|---|------|-----|----|-----|
| 23(2) | 調べたいことがすぐ分かるという点は私は思いつかなかったもので、いわれてみたらそうだなと思いました。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 利便性 |
| 35(1) | やはり使いやすさが重要だと思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 利便性 |

6-5. 実用性について

実用性について述べたものを次の〈表11〉に示す。

〈表11〉の54(2)、55(3)や81(1)は教材の「実用性」に関する記述であり、〈表4〉の第2位に来ている「実用性」コードにも反映している。

〈表11〉の93(1)は、「いい教材というのは、学習者にとって役立つ教材である」と述べている。41(3)も役立つに関する記述である。確かに、役に立たなければ、使い終わったら捨ててしまう。85(1)は、「教室でならったら、一步出ればその表現を使うことができるのは、学生にとって大きな喜び」と、応用できる教材のことに言及している。学習が終わっても、上記20(2)や44(2)から見られたように、繰り返し使えるような教材がいい教材だと思われるようである。

〈表11〉の80(3)は、「どこでも、予習や復習をできるというのは、継続的な学習にとても重要だ」と記述しており、82(3)にも、予習復習できる教材が学習を進めるのに役立つというコメントが得られた。

〈表11〉「実用性」カテゴリ

(n=13)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|---|-------|-----|----|---------|
| 54(2) | 丈夫であること、持ち運びに便利なこと（分厚すぎない）、繰り返し使えることや書きこめる余白があることなどは、教材に直に書き込みをしたり、ひんぱんに持ち歩いたりすることがあるからこそその意見である。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 実用的 |
| 55(3) | また、便宜上で繰り返しができること、索引・語の意味・CD付録などが挙げられた。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 実用的 |
| 81(1) | 語学学習では特に、書き込んだりすることが重要なので、書き込んで完成するような教材が、役に立つと思いました。 | 社会人・女 | 30代 | 日本 | 実用的 |
| 02(1) | 買っても使わない教材は、例え見やすくて分かりやすいものでもいい教材ではないと思う。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | よく使う |
| 32(3) | しかもそのような教材に限って、授業が終わる（学習を終える）と全く使わなくなって、タンス・倉庫の肥やしになってしまったり…します。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | よく使う |
| 20(2) | 長年使い忘れた部分を読み返し思い出せる長期的に使える教材も良いという意見が出ました。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 長く使える |
| 44(2) | 例えば上で見ると、教材が物であったら、“安全でこれにわかれにくい”のがいい教材だと思い、これは教材全体に期待する“長く使える”ともつながると思った。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 長く使える |
| 41(3) | 「授業外でも役立つ」「授業の内容とリンクしている」「面白い」などのその他のカテゴリに分類できることが分かる。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 役立つ・内容等 |

| | | | | | |
|-------|---|-------|-----|----|-------|
| 93(1) | いい教材というのは、学習者にとって役立つ教材である。 | 学生・女 | 20代 | 中国 | 役立つ |
| 85(1) | 教室でならったら、一步出ればその表現を使うことができるのは、学生にとって大きな喜びだと思います。 | 社会人・女 | 50代 | 日本 | 応用できる |
| 80(3) | どこでも、予習や復習をできるというのは、継続的な学習にとっても重要だと感じました。 | 社会人・女 | 30代 | 日本 | 予習・復習 |
| 82(3) | しかも、予習や復習が大切なので、そういったことに配慮されている教材があれば、確実に語学学習を進めることができます。 | 社会人・女 | 30代 | 日本 | 予習・復習 |
| 57(3) | 「練習できる」というのはドリルの事を言っています。漢字ドリル。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | ドリル |

6-6. 内容について

内容について述べたものを以下の<表12>に示す。ただし、同様の記述は省略した。

<表12> 「内容」 カテゴリー (n=11)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|---|-------|-----|----|-----|
| 16(1) | 私は教材の「内容」を重視していたのですが、… | 学生・女 | 20代 | 日本 | 内容 |
| 27(4) | 相手は情報の量に関して記述が多かった。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 内容 |
| 63(2) | 他にも、脚注の載せ方や教材の内容の分類がうまくされている、など、読んだ上で「いい」と思うものより、一見して「いい」と感じるものの方が多かった。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 内容 |
| 08(1) | 内容に対する評価と見た目に対する評価があると思う。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 内容等 |
| 78(2) | 演習問題などがきちんとしているものであり… | 学生・男 | 10代 | 日本 | 演習 |
| 93(3) | そして、知識を要領よく編集しなければならない | 学生・女 | 20代 | 中国 | 知識 |
| 83(2) | バラエティーに富んだ教材を揃えておくためです。 | 社会人・女 | 30代 | 日本 | 多様性 |

(4件省略)

マップ調査では<表3>のように、「教材内容」カテゴリーを細かく分けて、いくつかのコードでまとめた。しかし、上記<表12>から、広く内容への自由記述が出現した。

6-7. 値段について

価格・値段について述べたものを以下の<表13>に示す。

<表13> 「値段」 カテゴリー (n=10)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|---|-------|-----|----|-----|
| 34(4) | そして安価ということも重要だと思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 値段 |
| 38(1) | 値段が高すぎなければ購入の際買いやすくなると思う。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 値段 |
| 59(1) | いい教材とは、使うものに合うように値段が適切であったり、… | 学生・女 | 10代 | 日本 | 値段 |
| 74(3) | 学生のような立場であれば、価格にも目が向けられる。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | 値段 |
| 78(4) | また難しさや値段の面で手にとりやすいものであることが望ましい。 | 学生・男 | 10代 | 日本 | 値段 |
| 83(1) | はじめに、教材を選ぶにあたり、まず、値段が手頃である事は、大事な要素だと思います。 | 社会人・女 | 30代 | 日本 | 値段 |
| 91(1) | 学生用なので、安い方がいいという意見が多いみたい(検討により)。 | 学生・女 | 20代 | 中国 | 値段 |

| | | | | | |
|-------|--------------------------------------|------|-----|----|-----|
| 32(1) | 価格・持ち運びに関するイメージは、実際の経験から感じたものです。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 値段等 |
| 32(2) | 例えば冊子体の辞書、値段が高いうえに重くて持ち運びしにくい。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 値段等 |
| 25(2) | 値段や、その教材の内容の順についての記述を、私はそう考えつつ書きました。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 値段等 |

<表13>は値段についての記述であり、<表4>の上位3位の「値段」コードと一致している。74(3)は、「学生のような立場であれば、価格にも目が向けられる」と述べており、ほとんど学生向けの教材は適切な値段が要求されているようである。それから、学生だけではなく、83(1)「はじめに、教材を選ぶにあたり、先ず、値段が手頃である事は、大事な要素だ」のように、社会人の人も手頃な値段を先に考えるべきという記述も得られた。

91(1)の記述から見ると、日本人にせよ、留学生にせよ、安い方がいいという意見が多い。

32(2)は「冊子体の辞書」が値段が高い上に重くて持ち運びにくいとしているのは、コンパクトになっている電子辞書が軽くて持ち運びやすく、値段が安いと対比して言いたかったのであろう。

6-8. 多様性について

「いい教材」へのイメージは多様である。それについて述べたものを2つの表に分けて示す。それぞれは「教材の種類」カテゴリー、「教科・科目」カテゴリーである。

<表14-1> 「教材の種類」カテゴリー (n=10)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|---|------|-----|----|-----|
| 01(1) | 「教材」と一口に言ってもいろいろなものがあるということに気づいた。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 種類 |
| 09(2) | 本（紙）だったりCDだったりまったく別のものもあるので、それぞれでどんなものがよいかも違ってくと思う。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 種類 |
| 39(1) | 教材の種類（書籍・CD等）によってはまた違う意見になると考えられる。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 種類 |
| 43(1) | 教材がどんなものなのか（書籍・DVD等）が分からないので、それによってさまざまな考え方があった。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 種類 |
| 51(1) | 教材といえば、テキストであったり、講師などの体験であったりと様々な種類があった。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 種類 |
| 64(1) | 何の教材なのかによっても大きく変わるのではないかと思います。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | 種類 |
| 64(2) | 何を題材に扱うかによって教材の媒体も変わるので… | 学生・男 | 20代 | 日本 | 種類 |
| 77(1) | 教材を書物とするか、Power Pointなどのデジタルな教材とするか、また人物を教材とするか、といろいろな考えがあった。 | 学生・男 | 10代 | 日本 | 種類 |

(2件省略)

上記09(2)は、「本(紙)だったりCDだったりまったく別のものもあるので、それぞれでどんなものがよいかも違ってくると思う」と記述されている。39(1)も、「教材の種類(書籍・CD等)によってはまた違う意見になると考えられる」と述べている。教科書のような紙でできている教材か、或はビデオやCDなどの視聴覚教材かによって、「いい教材」への定義も異なってくるという意見が多いようである。

また、51(1)は、「教材といえば、テキストであったり、講師などの体験であったり様々な種類があった」と述べており、講師の体験をも教材の一種に入れて考えている。これは、授業の一環として、講師や社会人を「本」に見立てて、「生きている図書館」という活動を実施したことによると思われる。

<表14-2> 「教科・科目」 カテゴリー (n=6)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|--|------|-----|----|-----|
| 47(1) | 教科によっていい教材のイメージがかわってくる。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 教科 |
| 47(2) | 歴史などの教材では絵や写真が多いとうれしいが、国語の教科書で絵や写真が多すぎるのは別にいいと思えないなど。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 教科 |
| 47(3) | 科目によっていい教材とは何か異なります。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 科目 |
| 51(2) | テキストの内容でも、文系のもので理系のもので「いい」と思われることが大きく異なった。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 教科 |
| 57(1) | どんな教材が良いかは教科によって異なります。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 教科 |
| 57(2) | 上記で「大切ところが太文字」というのは数学や社会、理科の事を指していますが、国語の教材はほとんどが小説や小論文でできているのでその必要はありません。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 教科 |

上記47(1)、47(3)や57(1)は教科や科目によって「いい教材」へのイメージが異なってくるという記述である。47(2)は、「歴史などの教材では絵や写真が多いとうれしいが、国語の教科書で絵や写真が多すぎるのは別にいいと思えないなど」と、具体例を挙げながら教材へのイメージの違いについて述べている。

また、51(2)や57(2)は、文系と理系を分けて、「いい」と思われる教材のイメージが異なるという記述である。

マップでは、回答者がただ思いつくいい教材のキーワードを書き込んでいる。その回答者がどんな科目の教材をイメージし回答しているのかは、自由記述の回答がないと分からない。自由記述によって、回答者の考えに少し深く入り込むことができると思われる。

6-9. 興味深いについて

興味深いについて述べたものを以下の<表15>に示す。

<表15>の31(3)は、「内容的に見て興味を引き出させてくれるようなもの(自分の

身近な事柄を題材として取り扱っているもの) がよい教材ではないかと思いました」と、身近なテーマが興味を持たせることができるとしている。

<表15> 「興味深い」 カテゴリー (n=9)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|--|-------|-----|----|-------|
| 15(2) | もう1人の人は、興味をそそられるものといっていました、その通りだと思いました。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 興味深い |
| 31(3) | 内容的に見て興味を引き出させてくれるようなもの(自分の身近な事柄を題材として取り扱っているもの) がよい教材ではないかと思いました。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 興味深い |
| 54(1) | “図や表がある”というイメージは“飽きさせない”というイメージの中に含まれるものだと感じた。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 興味深い |
| 67(1) | 興味を持ちやすい、導入しやすさと、知識の広がりを感じさせるもの。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | 興味深い |
| 93(2) | まず、学習者の興味を引き出すことが充実していなければならない。 | 学生・女 | 20代 | 中国 | 興味深い |
| 19(2) | 特におもしろい内容かどうかに焦点を当てている所が新鮮だった。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 面白い |
| 84(1) | 良い教師と良い教材があって学習意欲が湧くと思います。 | 社会人・女 | 50代 | 日本 | 学習意欲 |
| 53(1) | 学習していくにあたって、その教材を使うことでさらに理解が深まり、意欲が出てくるものが「いい教材」と言えると思います。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 意欲 |
| 76(2) | また、利用者が自主的に考えるように啓発するものも良い教材と言えると思います。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | 考えさせる |

上記の54(1)は、「“図や表がある”というイメージは“飽きさせない”というイメージの中に含まれるものだ」という発想があった。

上記の自由記述はマップから得られた<表3>の上位3位に来ている「興味深い」コードと一致しており、興味を引き出せる教材が期待されていると言えよう。

6-10. 他人の意見について

アンケート回答後、ペア・ワークで内容を検討し、他人の意見についての記述も8件出現したが、紙幅の都合上ここでは省略する。

6-11. 教科書について

教科書について述べたものを以下の<表16>に示す。

<表16> 「教科書」 カテゴリー

(n=8)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|---|------|-----|----|------|
| 03(1) | 教材＝教科書・テキストという認識で書いたが、教材にはDVDやホワイトボードは含まれるのですか？（授業全般で使用されるもの） | 学生・女 | 20代 | 日本 | テキスト |
| 31(1) | 私は、このマインドマップを書く時に主に「テキスト」（紙による教材）を想像しました。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | テキスト |
| 42(1) | “教材”といっても色々なものがあるのに私は“教科書”に限定して考えてしまった。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 教科書 |
| 68(2) | 多分、教科書や参考書をイメージしたのだと思う。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | 様々 |
| 52(1) | 私のいい教材のイメージは高校のときの日本史や国語の資料集です。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 高校教材 |
| 52(2) | 年表とかだけでなく、当時の文化、芸術が写真や挿し絵で紹介されていて、見ていて面白かったです。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 高校教材 |
| 55(4) | どれに関しても、私は高校教材をイメージした。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 高校教材 |
| 71(1) | 教材と聞かれると、文書とかをイメージしがちなのではと思った。 | 学生・男 | 10代 | 日本 | 文書 |

上記03(1)は、「教材＝教科書・テキストという認識で書いたが、教材にはDVDやホワイトボードは含まれるのですか？（授業全般で使用されるもの）」と述べており、「教材」が一体何を指しているのかが不明確なため、こういう疑問が出た。

31(1)や42(1)は、教材を「教科書」或は「テキスト（紙による教材）」にイメージして考えた。52(1)、52(2)や55(4)はより具体的に「高校教材」をイメージした。

上記の自由記述はマップでは得られなかった情報が入っている。マップだけでは、回答者は何をイメージしてマップを書いたのかはつかみにくい。しかし、自由記述を通して、回答者のより具体的な考えが現れて来る。

6-12. 教師について

教師についての記述も6件出現したが、紙幅都合上、ここでは省略する。

6-13. 新発見について

新発見について述べたものを以下の<表17>に示す。

<表17> 「新発見」 カテゴリー

(n=5)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|---|------|-----|----|-----|
| 61(1) | 「使いやすい」の中には、授業の中でのという意味だけではなく、「持ち運びしやすい」や、「手頃な価格で手に入る」という意味もあると隣の人の会話で気づかされた。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 気づき |
| 61(2) | また、「記憶に残る」というものも、ただ教材が目立つ、等だけでなく、そのものにエピソードをつける、あるいは手続きを加えるということも含まれることに気づいた。 | 学生・女 | 10代 | 日本 | 気づき |
| 16(3) | 見せ合うことで新たな考え方を発見することが出来ました。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 新発見 |
| 16(3) | 友人と見比べると、新たな発見があった。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 新発見 |

| | | | | | |
|-------|-------------------------------------|------|-----|----|----|
| 44(1) | マインドマップを進めていくと、“こことこもつながるな!”と発見がある。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 発見 |
|-------|-------------------------------------|------|-----|----|----|

上記61(1)や44(1)のように、回答者がアンケートを書いていくうちに、自分なりの気づきがあり、新しい発見もできたというコメントが見られた。また、16(3)や16(3)のように、回答後ペア・ワークで互いの回答を見せ合うことで新たな発見があったという記述も得られた。

6-14. 「具体性」「明確性」について

「具体性」と「明確性」について述べた切片もそれぞれ4件出現したが、ここでは紙幅の都合上省略する。

6-15. 日本と中国の違いについて

日本と中国の教材についての相違に関して、次のような記述が得られた。

「中国の大学の教材と日本の教材はあきらかに違うと思います。中国の教材は基礎知識を主としているのに対し、日本の教材は実践性に重点をおくと思います。やはり両方を合わせたらもっといい教材がでると思います」(中国・20代・女性)。

6-16. その他について

その他として、マップ調査に不慣れなための戸惑いや疑問について述べた記述が11件出現したが、ここでは紙幅の都合上省略する。

6-17. 適材適所について

適材適所について述べたものを、以下の<表18>に示す。

<表18> 「適材適所」 カテゴリー

(n=10)

| 番号 | 自由記述データ | 属性 | 年齢 | 国籍 | コード |
|-------|---|-------|-----|----|------|
| 05(1) | 「いい教材」は、その教材を使う人がそれをどう思うかによって変わると思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 使用者 |
| 05(2) | ある人は使いやすいが、使いにくい人もいるという具合にさまざまだと思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 使用者 |
| 24(1) | いい教材は、自分の趣向と、目的によって変わると思います。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 使用者 |
| 77(2) | また、自分が良い教材と思っている、他の人からするとそうでないかもしれないので、一概には良い教材とは何かを決めることは困難なことだと考える。 | 学生・男 | 10代 | 日本 | 使用者 |
| 79(1) | いい教材は、生徒1人1人違うと思いました。 | 社会人・女 | 30代 | 日本 | 使用者 |
| 75(2) | 「いい教材」とは取捨選択により得られるものであると考える。それは、個人・年齢・国籍により「いい～」というものが違うからである。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | 取捨選択 |

| | | | | | |
|-------|--|------|-----|----|------|
| 75(3) | それだけ「いい」とはあいまいな表現だと言える。 | 学生・男 | 20代 | 日本 | あいまい |
| 77(3) | 良い教材とは、国籍に応じて、時代に応じて、環境に応じて変化するものではないだろうか。 | 学生・男 | 10代 | 日本 | 変化 |
| 20(1) | 時代に合って変化する教材も良いが、… | 学生・女 | 20代 | 日本 | 変化 |
| 27(5) | これらがあわさってこそ、本当のいい教材といえるのであろう。 | 学生・女 | 20代 | 日本 | 条件 |

同じ教材でも、使い手によって、いいと思う人もいれば、良くないと思う人もいる。上記05(2)「ある人は使いやすいが、使いにくい人もいるという具合にさまざまだ」と述べているように、使用者の考えがそれぞれ違う。また、77(2)も、個人の観点が異なるため、「良い教材とは何かを決めることは困難なことだ」というコメントが得られた。

上記24(1)も、個人の趣味や利用する目的によって、「いい教材」に対するイメージが変わるものと指摘している。

上記75(2)は、「『いい教材』とは取捨選択により得られるものであると考える。それは、個人・年齢・国籍により『いい〜』というものが違うからである」と記述している。確かに、「いい〜」は適材適所という要素が大きい。

77(3)や20(1)は、時代に応じて変化する教材が良いというコメントである。

上記の教材の適材適所に関する記述はマップでは得られなかった。

7. まとめと今後の課題

<表 19> マップ調査のまとめ

| 順位 | カテゴリー | 数 | 比率 |
|-------|-------|------|-------|
| 1 | 教材内容 | 892 | 65.2 |
| 2 | 性質 | 331 | 24.2 |
| 3 | その他 | 146 | 10.7 |
| 総回答件数 | | 1369 | 100.0 |

<表19>に示したように、全体の回答件数から見ると、「教材内容」カテゴリーが65.2%で、首位を占めている。次の第2位に来るのが「性質」カテゴリーで、24.2%を占めている。最後の第3位は「その他」カテゴリーである。

マップ調査の結果から見ると、回答者が教材の内容を重視していることが分かった。

その中で、「視覚効果」「分かりやすい」「興味深い」3コードが、上位3項目である。「視覚効果」コードでは、図や絵がある、カラフル、解説付きやイラストなどの回答は、教材を分かりやすくすることや使用者の興味を持たせるなどの効果があると推測できる。この3コードが互いに影響し、深くつながっていると考える。それから、自由記述から、「視覚効果」「分かりやすい」「興味深い」に関する記述も多く得られ、マップ調査の回答と自由記述の内容が関連している。

「性質」カテゴリーでは、教材の「利便性」、「実用性」や「値段」に対する期待が

多いようである。頻繁に使用される教材は、やはり便利で、実用的で、安価である性質が望ましいと思われる。自由記述からもこれらの性質に関する記述が多く述べられている。

「その他」カテゴリーに関して、「副教材」コードの回答件数が最も多かった。自由記述からも、印刷教材に限らず、映像、オーディオ、物や人間まで教材として使えるという意見が多く得られた。教材を広義で捉えることが時代に合うことであろう。

<表19>のマップ調査のまとめからは得られなかった「教材の種類」「教科・科目」「適材適所」などの違いによって、「いい教材」へのイメージが異なってくることに關する回答が、自由記述から求められた。やはり、マップの回答だけでは、回答者が具体的にどう考えているのかは、読み取りにくいと思われる。しかし、自由記述を通して、回答者の考えをより詳しく知ることができた。

本稿では、日本人学生や社会人に「いい教材とは？」を中心テーマとしてマップ調査を行ったが、集計してみると両者の間に大差が見られず、性別の差によって、「いい教材」へ持つイメージが異なって来る可能性も考えられるため、その点についての調査、分析を行ないたい。また、本稿では、留学生の回答数が少なかった。しかし、自由記述から、日本と中国の教材が明らか違うという意見が得られたため、中国人留学生を対象にアンケートを取り、日本人との違いについても分析・検討したい。

教材は授業のツールとして、教師と学習者を結び付けていると考えられる。林・衛(2010)は「いい日本語教師とは？」のアンケートを行なった。授業の主役とも言える学習者が「いい」と定義した場合には、どのようなデータが得られるかに着目し、「いい学習者とは？」を中心テーマとしたマップ調査も行ないたい。

【参考文献】

- 赤堀侃司 (1997) 『ケースブック大学授業の技法』 有斐閣
- 秋田喜代美 (2006) 『授業研究と談話分析』 放送大学教育振興会
- 有田和正 (1984) 『学習意欲の高め方』 明治図書
- 許恵玉 (2009) 『『日本文化』と『中国文化』のイメージ比較研究』 山口大学人文学部
国語国文学会発行『山口国文』第32号、pp.136-150
- 戈木クレイグヒル滋子 (2006) 『グラウンデッド・セオリー・アプローチ』 新曜社
- 鈴木克明 (2002=2006) 『教材設計マニュアル—独学を支援するために—』 北大路書房
- 総合的学習対応教材研究委員会 (2000) 『新しいメディアに対応した教科書・教材に関する調査研究—平成11年度文部省調査研究委嘱—』 教科書研究センター

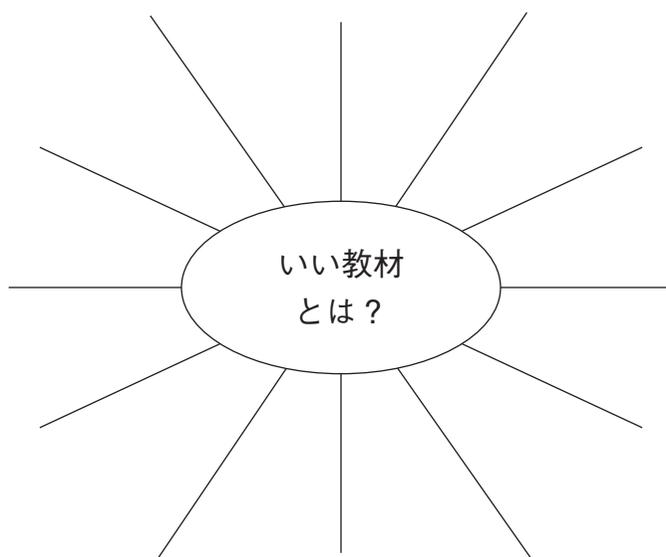
- 佐々木翔太郎 (2010) 「日本と中国における『鬼』のイメージの差異について」 山口大学文学会発行『山口大学文学会志』第60巻、pp.61-73
- 林伸一 (2009) 「外国人のための日本語教科書『おいでませ山口』の歩みと今後の課題」 山口大学文学会発行『山口大学文学会志』第59巻、pp. 115 - 129
- 林伸一・衛蕾 (2010) 「中国人学習者が求める日本語教師像—マインド・マップ調査に基づく考察—」 山口大学文学会発行『山口大学文学会志』第60巻、pp.39-59
- 林伸一 (2010) 「期待される日本語教師像について—外国人留学生の期待と教師の自己点検の課題—」 山口大学大学機構発行『大学教育』第7号、pp.57-68
- マルチメディア対応教科書研究委員会 (1998) 『新しいメディアに対応した教科書・教材に関する調査研究—平成9年度文部省調査研究委嘱—』教科書研究センター
- Wycoff, J (1991) *Mindmapping* The Berkley Publishing Group (=邦訳：『マインドマッピング』吉田八重訳 (1994) 日本教文社)

[付記] 本マップ調査にご協力いただいた日本人学生、社会人、外国人留学生の方々にこの場をお借りして、心より感謝の意を表したい。本当にありがとうございました。

<別添資料>

アンケート調査

あなたにとって「いい授業」とはどんな授業でしょうか？思いつく言葉やイメージ、表現などを次のマインド・マップに書き入れてみてください。



何かご意見があればご記入下さい。

.....
.....
.....
.....
.....

◎国籍（ ） 出身地（ ） 都道府県 ◎性別（男・女）

◎年齢（10歳代・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳代～）

ご協力ありがとうございました。